



第13回埼玉建築文化賞受賞作品

第16回高校生の「建築甲子園」埼玉大会応募作品

一般社団法人 埼玉建築士会

協賛：(株)総合資格
(株)建築資料研究社/日建学院

第13回埼玉建築文化賞

【趣旨】

埼玉建築文化賞は、日頃建築士会の会員が行われている仕事のなかで、特に地域の特性を活かし、かつ、景観的にも機能的にも優れた建築物等を表彰することにより、建築文化・居住環境に対する一般市民の認識を高め、文化の香り高い魅力に満ちた快適なまちづくりを進めていくことを目的に平成25年度から実施しております。

【日程】

作品応募受付期間 2025年7月14日（月）～2025年9月22日（月）

作品提出期間 2025年9月24日（水）～2025年9月30日（火）
※20作品の応募

審査会 2025年10月17日（金）・別途事前書類審査
※最優秀賞4作品、優秀賞10作品、奨励賞6作品が決定

作品展 2026年1月27日（火）～2026年1月31日（土）
9：30～19：00（最終日は16：00）
コムナーレ9階（浦和パルコ上階・JR浦和駅東口）
※同時展示：高校生の「建築甲子園」埼玉県内応募作品

第13回受賞作品 最優秀賞（4作品）

【住宅部門】



作品名：みのりが丘の家

応募者：小林 伸吾

設計者：(株)小林建設一級建築設計事務所

施工者：(株)小林建設

群馬県安中市にあるこの住宅は、豊かな緑に囲まれた住宅街に定住するためには建築されたもので、敷地は新幹線駅直結型の定住型リゾートシティの一画にあり、区画も比較的大きく住環境も整備された恵まれた土地にある。

建物の平面構成は2つの建物を45度にレイアウトする事で変化に富んだ景観を演出し、まずは設計の大胆を感じます。

また、2つの建物構成のうち、1つの建物構成として大空間を構成する1階リビングは地域性を活かした間取りなのか、玄関土間と一体となった開放性があり、自然素材を使った現代的な造りとなり、お客様を迎えるにふさわしい気持ちの良い空間に仕上がっていると思います。

そして、もう一つの建物を構成する、言わばプライベート空間を構成する建物を大開口がある階段ホールで繋ぎ、スキップフロアにすることで、開放性のある空間とプライベート空間が交互に現れ、立体的に豊かな空間を演出し、余剰空間も無駄なく利用している。更には大空間ゆえの温熱環境にも配慮した設計となっており、全体的に見どころの多い作品となっています。

この様に地域の特性を活かした高機能の住宅であり、埼玉建築文化賞の最優秀賞に相応しい建築物といたします。今後ますますのご活躍を期待いたします。

【リフォーム・改修部門】



作品名：Regrow

応募者：中山 大輔

設計者：(株)内藤建築事務所

施工者：青木あすなろ建設(株)

旧東京理科大学久喜キャンパスの跡地の再利用の作品。

さいたま看護専門学校としてのあらたな建物として再設計された、サステナブル建築という新しい価値観で計画されています。

敷地が広大なため建築作品としての法令順守はもちろんのこと、緑地計画や雨水抑制対策などにもさまざまな法規に対しても再検討されたことが推測でき、外部環境は学校施設としての基本的考え方である利用者の使いやすさにも十分に配慮された設計が行われています。

既存建物の一部改修も計画の中に示されていますので、新たに動線が確保され現代的な建物配置を実現されたところも、今後の大型物件の改修においての重要な要素です。

2016年から用途変更や改修を繰り返し行い、建築物が循環できることを実現された作品で、その他の建築材料にも環境に配慮された部分が数多く見られ、今回の応募作品の中でも他に類似性のない作品であることが、非常に評価が高い点です。

また将来に向けてさらなる増築計画を見据えた建築計画も検討されており、今後の改修や増棟にも期待しています。

埼玉建築士会では社会に向けての良好な建築環境の提供に積極的に取り組んでおり、今後はこのような循環型対策がなされた作品が多く発表される事を期待しております。

【事務所・店舗部門】



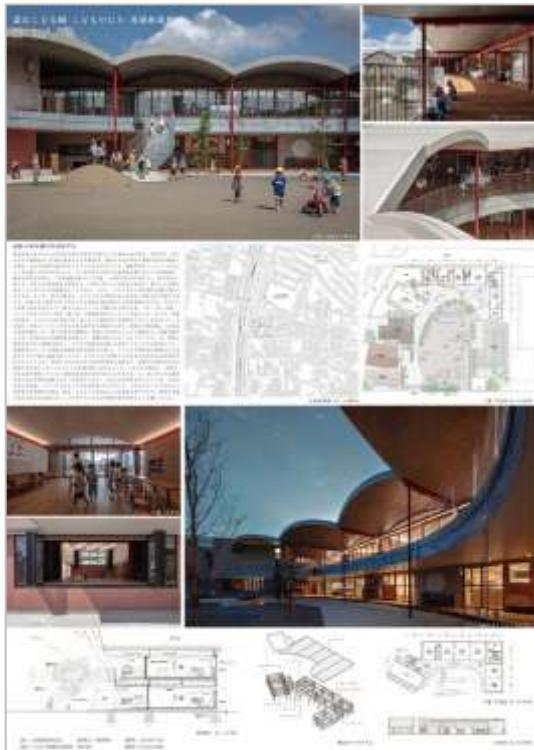
作品名：太平洋セメント(株)埼玉工場 事務所棟
応募者：戸田建設株関東支店一級建築士事務所
設計者：戸田建設株関東支店一級建築士事務所
施工者：戸田建設株関東支店

この建築は、見た目の美しさだけでなく、その設計思想と実現された技術にも注目すべき点が多くあります。広々とした空間、事務所部分は 8.7m × 10m という大きなスパンで設計されています。この大スパンを可能にしているのが「ボイドスラブ」です。この工法は、厚みを保ちつつ軽量化し、構造的な強度を確保でき、これにより、広々とした空間を実現しながら、建物の自重を軽減し、地震時の揺れも抑制可能で、ボイドスラブは梁が出ないため、スケルトン天井が可能となり、コンクリートの質感を活かした美しい内部空間を作り出しています。

この建築において特に注目するところは、独特な質感です。外壁の「チェーン引き」は、コンクリートが固まる前にチェーンで表面を引っ掻き、凹凸をつける仕上げ方法です。これにより、光の当たり方で表情が変わり、単調になりがちなコンクリートに深みと温かみを与えていために成功していると思います。そして、地域で採れる武甲山石灰石を使用したコンクリートに、この技法を用いることで、地域の風土とも調和する、唯一無二の外観を生み出しています。他にも、屋上全面に太陽光発電設備が採用され、環境負荷低減に貢献しています。これは、地域に根差した工場としての環境理念を具体化されています。

よってこの建築は、地域の特性を活かす「埼玉建築文化賞」の目的に沿ったものであり、今後、この建築が、周りの環境に与える影響はとても大きく、この建築が存在することで市民へ与える建築文化に対する価値の向上は計り知れない」と確信し、この度「太平洋セメント(株)埼玉工場事務所棟」を最優秀賞に値するものと致します。

【保育施設部門】



作品名：認定こども園 こどものにわ 西浦和幼稚園
応募者：柴崎 幹夫
設計者：ナスカ一級建築士事務所
施工者：丸和工業株

鉄骨造に RC ヴォールト屋根を組み合わせることで、幼少期の社会性を自然に育む“成長”と“協調”を児童施設のテーマとして表現した優れた建築である。

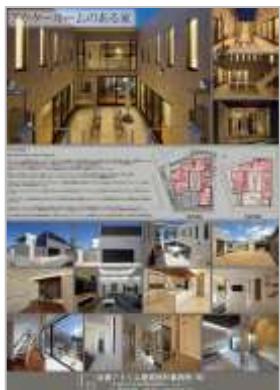
園庭を囲む本建物と関係者住居 4 棟、そしてそれらを覆うように架けられた大屋根により、バイパスや高速道路からの騒音を和らげ、静かな環境が確保されている。平面は、保育室がもつ XY 軸に対し、遊戯室をわずかに回転させた斜め軸で構成されることで、やわらかな緊張感と広がりをもたらしている。

配置は正面・裏面の二方向道路に接している敷地で、門から保育室までを園庭の眺めながら、土埃を避けるため高低差をつけた土間で緩やかな円弧で結んでいる。この円弧の中心点は関係者（理事長もしくは園長）の住居の入口付近であり、この起点から園内の様子が一望できるよう計画されている点も興味深い。

保育室前の上足・下足のエリアは 1・2 階ともデッキテラスが設けられ、特に 2 階は大きく張り出した屋根により、年齢に応じ形態や広さに変化を与えた雨天時でも室内と連続した外遊びが可能な広さがある。細部に目を向ければ、木製サッシや手摺など見てみたいディテールが随所にあり、園児が身体で受け取れる建築というのが受賞につながったものと思います。

第13回受賞作品 優秀賞（10作品）

【住宅部門】



作品名：アウタールームのある家
応募者：岩瀬 行泰
設計者：岩瀬アトリエ
建築設計事務所有
施工者：中尾建設工業株



作品名：Matie
応募者：長澤 剣太郎
設計者：長澤剣太郎建築計画事務所
施工者：米谷工務店



作品名：間がつなぐ住まい
応募者：田辺 誠史
設計者：(同)TAW s DESIGN
施工者：小暮建築株



作品名：まちなみ雑木林の家
応募者：小林 伸吾
設計者：株小林建設一級建築設計事務所
施工者：株小林建設



作品名：踊り場の散歩者
応募者：早田 大高
設計者：一級建築士事務所
（有）空間工房花組
施工者：（株）丸二企画



作品名：桜町の家
応募者：藤間 利一
設計者：一級建築士事務所
藤間建築工房
施工者：島崎木材株

【リフォーム・改修部門】



作品名：STUDS
応募者：佐河 雄介
設計者：佐河雄介建築事務所
施工者：（株）内田産業



作品名：White Box II
応募者：藤間 利一
設計者：一級建築士事務所
藤間建築工房
施工者：（株）松本木材店

【事務所・店舗部門】



作品名：R&Dセンター
応募者：佐藤 彰宏
設計者：アスク建築設計室
施工者：大畠建設株



作品名：SAKURA HOUSE
応募者：松本 康弘
設計者：松本康弘建築工房
施工者：（株）櫻建設

第13回受賞作品 奨励賞（6作品）

【住宅部門】



作品名：セカンドステージハウス
応募者：山岸 光信
設計者：山岸光信建築設計事務所
施工者：ビルドブレイン㈱



作品名：晴耕雨読な暮らし
応募者：芝田 容子
設計者：(株)芝田商会
芝田容子建築デザイン室
施工者：(株)芝田商会



作品名：働く家
応募者：小林 伸吾
設計者：(株)小林建設一級建築設計事務所
施工者：(株)小林建設

【事務所・店舗部門】



作品名：草加商工会議所会館
建替え工事
応募者：牛山 信康
設計者：(株)ウシヤマ設計
(有)勝建築設計事務所
施工者：ムサシ建設工業㈱
笛沼建設㈱



作品名：Kon Kon Home 清見
応募者：宇佐見 佳之
設計者：近藤建設㈱
施工者：近藤建設㈱

【教育施設等部門】



作品名：埼玉県済生会川口総合病院南館
応募者：中山 大輔
設計者：(株)内藤建築事務所
施工者：(株)安藤ハザマ

第16回高校生の「建築甲子園」

“地域のくらしー地域に根ざした新しい和室を持つ戸建の住まい”

【日程】

作品提出期間 2025年9月30日(火)※1 作品の応募

埼玉大会審査会 2025年10月17日(金)
※優秀賞(埼玉県代表作品)1作品

全国大会審査会 1次審査 2025年11月12日(水)
2次審査 2025年12月10日(水)

埼玉大会作品展 2026年1月27日(火)～2026年1月31日(土)
コムナーレ9階(浦和パルコ上階)

優秀賞(埼玉県代表作品)

家族と過ごす海の近い別荘(埼玉県立春日部工業高等学校)



優秀賞おめでとうございます。この作品には、人口減少が進む現在においてあえて大家族(8人)と多くの親戚も集まれる別荘を実現することを目的とし海に面した閑静な街を選び設計した着眼点は良かったと思います。

室内の構成としては回廊を設けた中庭を中心に各室が繋がっており回廊が昔の縁側の様な場所として利用でき、大変すばらしいと思いました。

又、リビングについても勾配天井とし解放感あふれる団らんの場としたことも良かったと思います。

今後も実践を積み重ね活躍されることを期待いたします。